

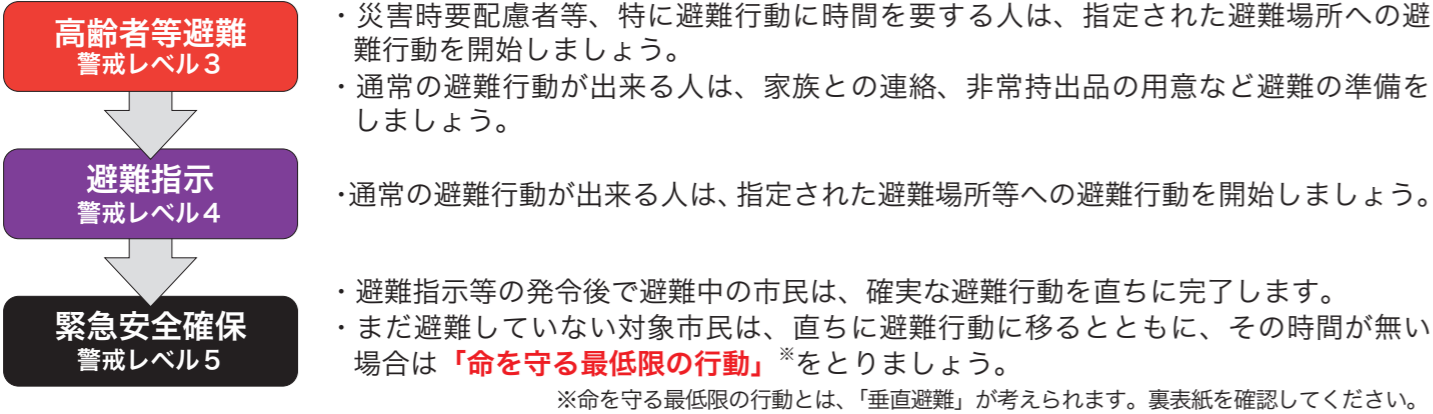
## どんなときに避難が必要になるの？

災害発生のおそれが高まった場合や災害が発生した場合には、市長が「避難指示」などを発令する場合があります。市民のみなさんには、各情報に応じた避難行動が求められます。

ここでは、避難指示など発令の流れから避難を開始するタイミングをつかんでいただくと共に、避難時の注意点をまとめました。

## 避難情報とは？

避難が必要となる場合には、状況の深刻度に応じ「高齢者等避難」→「避難指示」の2段階により市民に伝達されます。



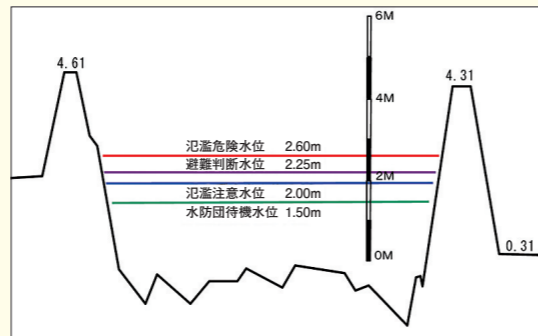
## 【洪水害】避難指示等発令の流れは？

- ①洪水予報発表【静岡地方気象台、国土交通省（大井川）、静岡県（瀬戸川・朝比奈川）】  
 水位周知河川における水位到達情報発表【静岡県（葉梨川・栃山川・大津谷川）】

### ②避難指示等の発令を検討

- ☆河川水位の確認（どの河川がどのくらい危険かの確認）
- ・川の防災情報（国土交通省）
- ・サイボスレーダー（静岡県）

対象水位観測所  
 大井川【細島（島田市細島地先）】  
 瀬戸川【勝草橋（志太3丁目地先）、助宗橋（助宗地先）、入江橋（焼津市駅北4丁目地先）】  
 朝比奈川【横内橋（横内地先）】  
 葉梨川【八幡橋（鬼島地先）】  
 栃山川【新道橋（焼津市大島地先）】  
 大津谷川【栃山橋（島田市阿知ヶ谷地先）】



（例）瀬戸川勝草橋水位観測所における設定水位

☆設定水位による避難判断基準 ※〇mは、各水位観測所に設定された水位

高齢者等避難	①【氾濫注意情報】が発表された場合 （氾濫注意水位〇m※に達し、さらに水位が上昇する見込みがある場合）
避難指示	①【氾濫警戒情報】が発表された場合 （氾濫危険水位〇m※を超える恐れがあるとき、もしくは避難判断水位〇m※を超え、なお水位上昇が見込まれる時） ②河川施設に異常が発見された場合、漏水等破堤につながる恐れのある箇所を発見した場合
緊急安全確保	①【氾濫危険情報】が発表された場合 （氾濫危険水位〇m※に達した時） ②河川施設に大規模異常が発見された場合、堤防本体の亀裂、大規模漏水等を確認した場合

上記情報や、堤防の異常などの前兆現象が発見され災害発生のおそれが高まった場合は、「避難情報発令判断チーム」で避難指示等の発令を検討します。

### ③高齢者等避難、避難指示の発令

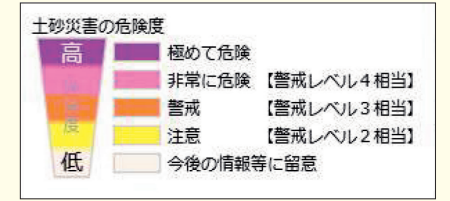
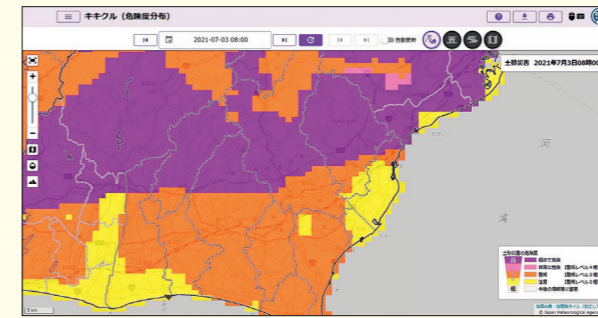
「避難情報発令判断チーム」の検討結果を踏まえ、市長が避難指示等を発令します。

## 【土砂災害】避難指示等発令の流れは？

### ①土砂災害警戒情報発表（静岡地方気象台・静岡県）

### ②避難指示等の発令を検討

- ☆土砂災害危険情報の確認（どの地区がどのくらい危険かの確認）
- ・気象庁：キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk>



### ・土砂災害警戒情報 補足情報（静岡県）

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>

上記情報や、土砂災害の前兆現象が発見され災害発生のおそれが高まった場合は、「避難情報発令判断チーム」で避難指示等の発令を検討します。

### ③高齢者等避難、避難指示の発令

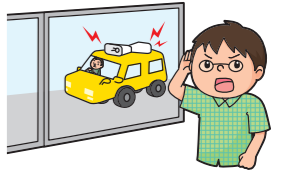
「避難情報発令判断チーム」の検討結果を踏まえ、市長が避難指示等を発令します。

## 避難指示等の伝達方法は？

避難指示等は、同報無線、市広報車及び消防車両による広報、テレビのニュース速報やラジオ放送などにより市民のみなさんに伝達されます。また、キックオフメールに登録すれば、防災情報として避難指示発令メールを受信することが可能です。

同報無線が聞き取れなかった場合など、もう一度内容を確認したいときは、フリーダイヤル 0120-175040 もしくは (054) 646-5040※に電話すると、最新に放送した内容から流れ、最大で24時間以内に放送した内容が確認できます。

※通話料がかかります。混雑時には通話中になることがありますので、再度お掛け直しください。



### 藤枝市メール配信サービス「キックオフメール」

市では、Eメール機能を利用し「キックオフメール」というメール配信サービスを行っています。キックオフメールに登録すると、気象警報や土砂災害警戒情報の発表・解除のほか、避難指示などの発令、同報無線の放送内容、市役所からのお知らせなど、市民の皆様役に役立つ情報を受け取ることができます。登録は無料で、誰でも簡単に登録ができます。t-fujieda@sg-p.jp に空メールし、返信メールを受信後、本文内に記載のURLにアクセスし登録を進めます。

QRコード (PC・スマホ用)      QRコード (フィーチャーフォン用)



## 藤枝市における水害・土砂災害に対する危機管理体制は？

大雨や台風時には、都市建設部及び危機管理センター職員が土日・祝日も含め24時間体制で災害の発生に対し警戒しています。また、市民の生命財産を守るため、気象情報、河川水位の監視や危険箇所の巡視等を行い、災害発生のおそれが高まった場合は、危機管理監、水防長（基盤整備局長）などで構成する「避難情報発令判断チーム」の検討結果を踏まえ、市長が避難指示等を的確に発令する体制を整えています。

### ・警戒レベル

都市建設部職員2～4名で情報収集などの初期対応を行います。

### ・出動レベル

都市建設部職員10～11名、危機管理センター職員2名の12～13名体制で、市内パトロールを開始します。

### ・出動レベル後の異常降雨時、大雨特別警報発表時、台風接近時など

河川課職員の追加により体制を強化し、その後、状況悪化予測に基づき、第一配備体制、第二配備体制へと、さらに職員を増員して万全の体制をとります。